



三重県 伊勢茶輸出プロジェクト 『品質の高い「伊勢茶」を世界へ』

【主な品目】

茶

【主な輸出先国・地域】

ドバイ、ベトナム、アゼルバイジャン等

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成30年に(有)萩村製茶、(有)深緑茶房、茶来まつさか(株)、(株)川原製茶、JA全農みえ、三重県を構成員として、産地から直接輸出する仕組みづくりを目的に設立。
- ◆ 令和元年以降、EUやドバイ、アゼルバイジャンに向けて輸出を開始。
- ◆ 現在は、大ロット輸出に向けた産地全体における有機栽培の普及、効率的な輸送方法の検証、海外現地カウンタパートを伊勢茶ファンへと育成することによる継続的な輸出拡大などの取組を実施。

【輸出実績】

	輸出額(千円)	出荷時期
令和6年度	49,357	通年
令和4年度	2,395	

【取り組む際に生じた課題】

- ・輸出拡大に向けては、世界的に需要の高い、有機栽培への転換が重要だが、収量や品質の低下が懸念。
- ・各国でPRを実施してきたが継続的な商流確立が困難。
- ・大ロット輸出に向けた空輸以外の輸送方法の確立。

【生じた課題への対応】

- ・生産者と連携し、有機栽培転換実証を実施。病虫害や雑草の発生等についてデータを収集。
- ・ドバイの現地カウンタパートを産地に招へいし、茶畑の見学や生産者との交流などにより、伊勢茶のファン(アドボケイツ)化を促進。
- ・ドライコンテナ輸送、航空輸送+現地ストックによる輸送実証を実施。

【対応の結果】

- ・病虫害、雑草等の被害程度や、二番茶における収量減が明らかとなり、研修会等にて生産者に情報提供。
- ・アドボケイツとなったドバイのカウンタパートが、現地で伊勢茶をPRし、継続的な商流構築、輸出拡大に寄与。
- ・ドライコンテナ輸送が、輸送手段として活用できる可能性があることを確認。

【今後の展望】

- ・有機栽培実証やより厳しい条件での輸送実証などを実施。
- ・他国でのアドボケイツ育成に向け、産地へのカウンタパート招へいによるPRを推進。



海外用伊勢茶商品



Abu Dhabi International Food Exhibition 2023での様子